

連結決算補足説明資料

2020年3月期 第2四半期

(2019年4月1日～2019年9月30日)

2019年10月31日

(証券コード：9640)

株式会社 セゾン情報システムズ

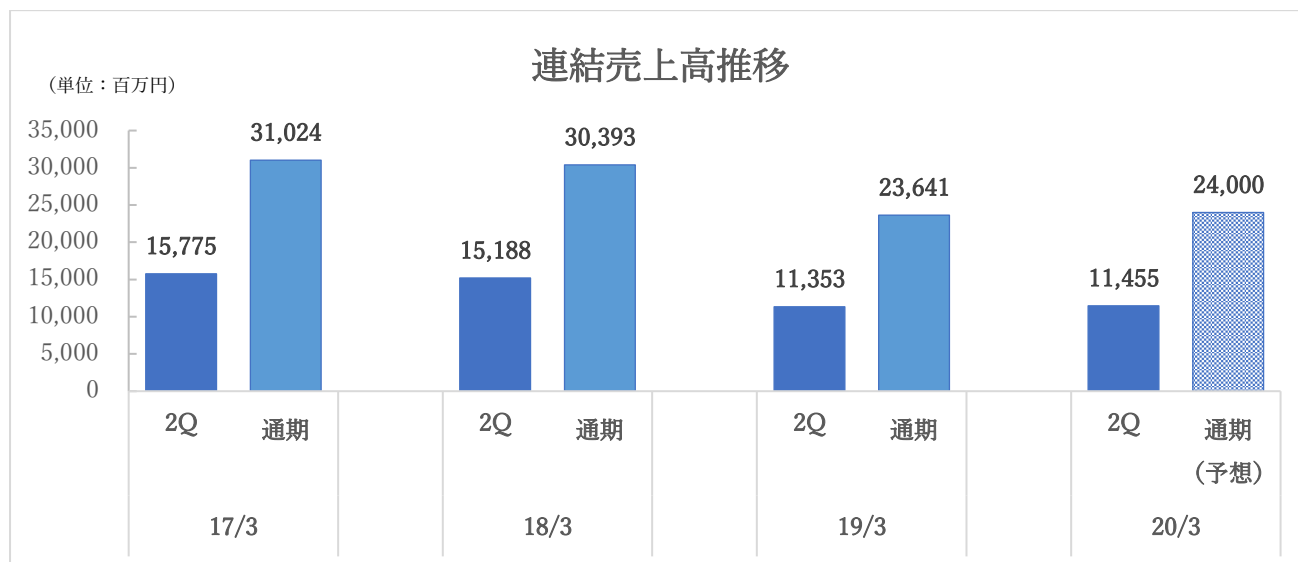
目次

1. 連結売上高・連結営業利益推移
2. 事業セグメント別の損益状況
 - ① Fintech プラットフォーム事業
 - ② 流通 IT サービス事業
 - ③ HULFT 事業
3. 新技術・新領域進捗状況
4. トピックス

(注) この資料に記載されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 連結売上高・連結営業利益推移

■連結売上高



<当第2四半期連結累計期間>

当連結会計年度は、新たな事業領域の拡大に向けた取り組みを継続しております。当第2四半期連結累計期間においては、通期計画値（24,000百万円）に対して進捗率47.7%となり順調に推移しました。

<2019年3月期（通期）>

- 大型システム開発が完了していることから売上高は減少したものの計画値は達成
- 新技術・新領域へ事業展開の取り組みを強化
- 流通ITサービス事業においてデータ連携サービス（リンケージサービス）が順調に増加（前期比45百万円増）
- HULFT事業ライセンス販売が大幅に増加、月額サービス利用やサポート売上も好調で過去最高売上高を達成（前期比321百万円増）
- 子会社株式会社アプレッソを2019年4月1日付で吸収合併（⇒適時開示、2019年1月30日）

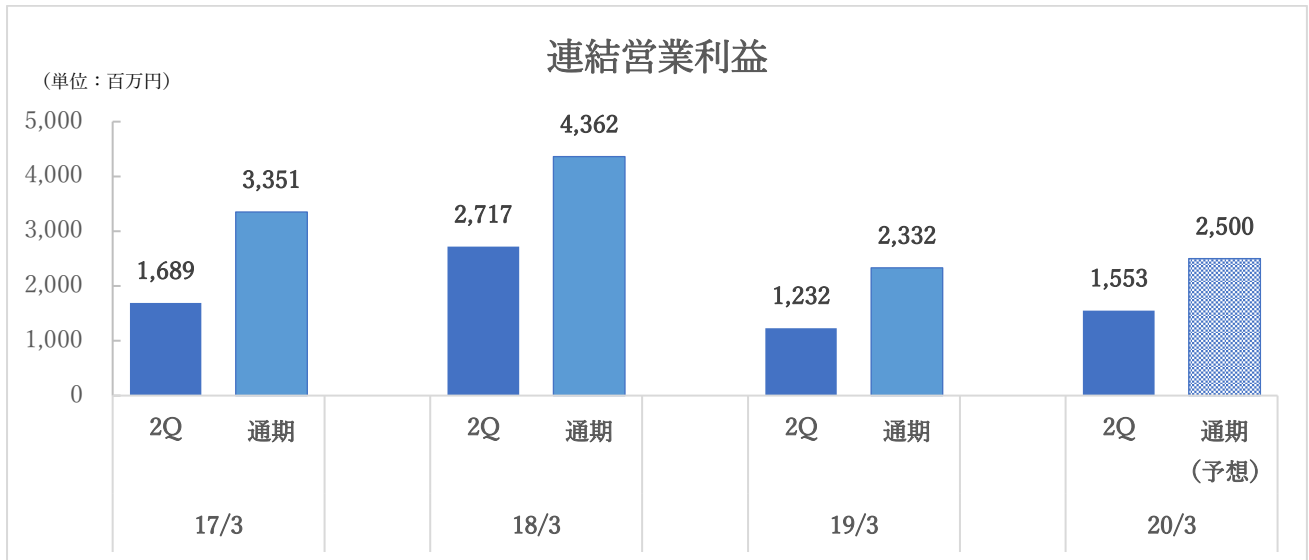
<2018年3月期（通期）>

- 大型システム開発完了・稼働しカードシステム事業（現Fintechプラットフォーム事業）売上高に大きく貢献（前期比774百万円増）
- HULFT事業ライセンス/サービス、サポート売上好調（前期比258百万円増）
- 子会社である株式会社フェスを2018年1月に事業譲渡（⇒適時開示、2017年11月29日）

<2017年3月期（通期）>

- カードシステム事業（現Fintechプラットフォーム事業）売上回復（前期比1,937百万円増）
- その他事業（株式会社フェス等）売上が順調に進捗（前期比1,142百万円増）

■連結営業利益



<当第2四半期連結累計期間>

売上高と同様に通期計画値（2,500百万円）に対して進捗率62.2%となり順調に推移しています。

<2019年3月期（通期）>

- 売上高同様、前連結会計年度に大型システム開発案件が完了したことによる利益減少したものの計画値は達成
- HULFT 事業ライセンス販売が大幅に増加、月額サービス利用やサポート売上も好調であったことに伴い利益増加（前期比426百万円増）

<2018年3月期（通期）>

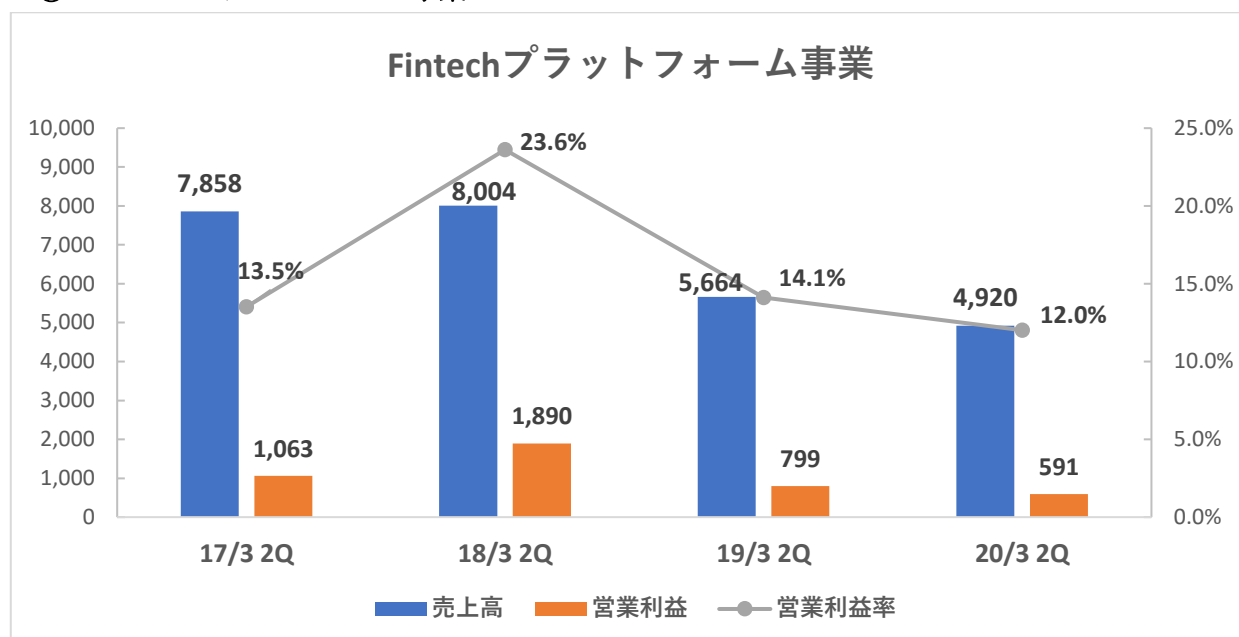
- カードシステム事業（現 Fintech プラットフォーム事業）売上増加及び新旧システム並行稼働による一時的な収益性向上による利益増加（前期比1,170百万円増）
- 流通・ITソリューション事業（現 流通ITサービス事業）において前期計上の解約損失引当金の影響により利益増加（前期比859百万円増）

<2017年3月期（通期）>

- カードシステム事業（現 Fintech プラットフォーム事業）売上増加に伴う利益増加（前期比1,199百万円増）
- 前期に赤字であった BPO 事業を譲渡したことによる利益体質改善（前期比1,253百万円増）

2. 事業セグメント別の損益状況

① Fintech プラットフォーム事業



当第2四半期連結累計期間については、決算短信に記載のとおりです。

<2019年3月期第2四半期 (Fintechプラットフォーム事業) >

- 大型システム開発が完了したこと等により売上減少 (前年同期比 2,340 百万円減)
- 大型システム開発に伴う売上減少及び一時的な高利益率状態の解消により営業利益減少 (前年同期比 1,090 百万円減)

(注) 2018年4月1日付で「カードシステム事業」を「Fintechプラットフォーム事業」に名称変更しています。

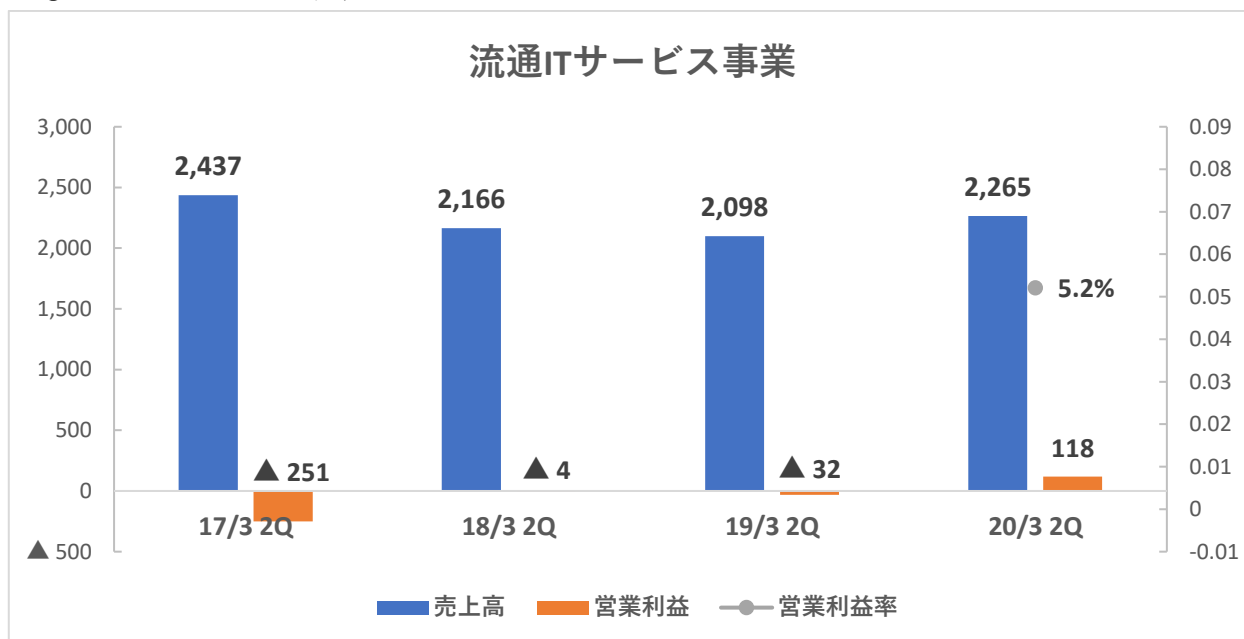
<2018年3月期第2四半期 (カードシステム事業) >

- 顧客向けシステム開発及び情報処理サービスが増加したことによる売上高増加 (前年同期比 145 百万円増)
- 大型システム開発に伴う売上増加及び一時的な高利益率状態による営業利益増加 (前年同期比 826 百万円増)

<2017年3月期第2四半期 (カードシステム事業) >

- 製品保証対応等により一時的に減少したシステム開発及び情報処理サービスが回復したことによる売上高増加 (前年同期比 1,373 百万円増)
- 売上高の回復に伴う利益改善 (前年同期比 328 百万円増)

② 流通 IT サービス事業



当第 2 四半期連結累計期間については、決算短信に記載のとおりです。

<2019 年 3 月期第 2 四半期 (流通 IT サービス事業) >

- システム開発中心からサービス提供中心へ事業モデル変革を目指し、システム開発案件を当社の強みを活かせる案件へ限定したことによる売上高減少 (前年同期比 68 百万円減)
- (注) 2018 年 4 月 1 日付で「流通・IT ソリューション事業」を「流通 IT サービス事業」に名称変更しています。

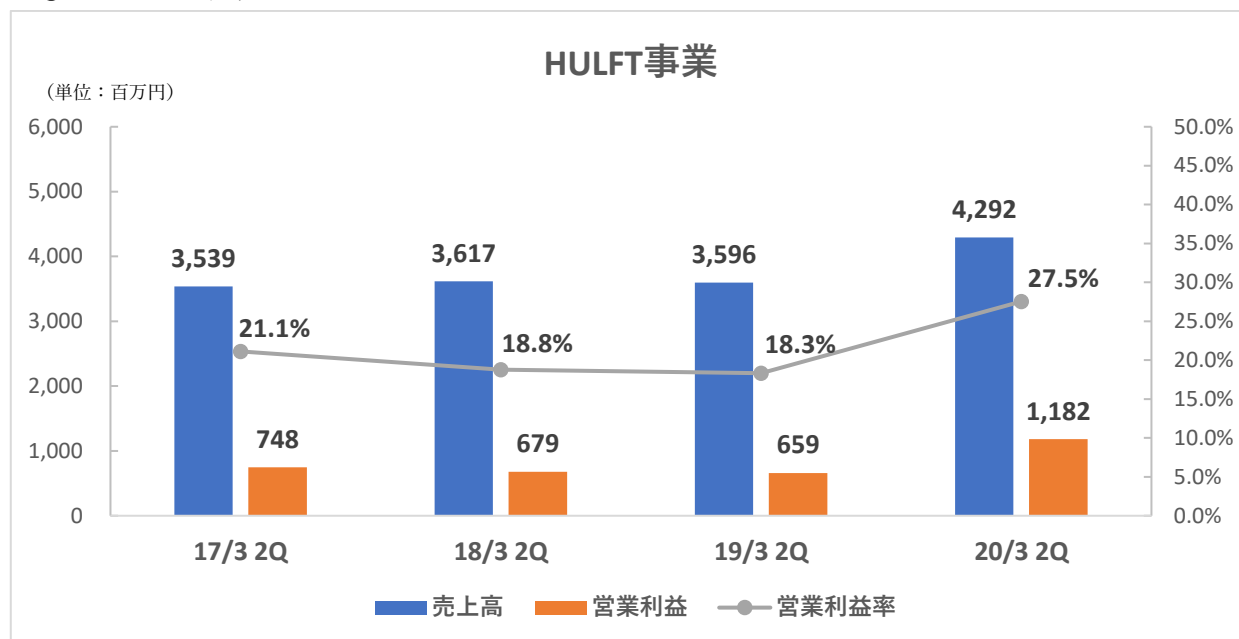
<2018 年 3 月期第 2 四半期 (流通・IT ソリューション事業) >

- 既存顧客向けシステム開発が減少したことにより売上高減少 (前年同期比 271 百万円減)
- 生産性向上による収益性向上や前期に計上したプロジェクト開発中止に係る損失が収斂したことにより営業利益が改善 (前年同期比 246 百万円増)

<2017 年 3 月期第 2 四半期 (流通・IT ソリューション事業) >

- システム開発案件及び情報処理サービスが減少し売上高が減少 (前年同期比 168 百万円減)
- 解約損失引当金繰入額の計上により営業損失を計上 (前年同期比 297 百万円減)

③ HULFT 事業



当第2四半期連結累計期間については、決算短信に記載のとおりです。

<2019年3月期第2四半期>

- 「HULFT」「DataSpider」等の月額利用サービス販売が拡大し、ストック型ビジネスの売上高に占める割合が増加したことによる売上高やや減少（前年同期比21百万円減）
- さらなる事業拡大を図るため、製品開発体制の再構築、グローバル展開強化、次世代戦略製品の研究開発及び人材育成等へ事業投資を積極的に実施したことによる利益減少（前年同期比19百万円減）

<2018年3月期第2四半期>

- 「HULFT」「DataSpider」等の保守サービス販売が増加したことによる売上高増加（前年同期比78百万円増）
- テクニカルサポート体制強化、マーケティング活動推進等により販売費及び一般管理費が増加したことによる営業利益減少（前年同期比68百万円減）

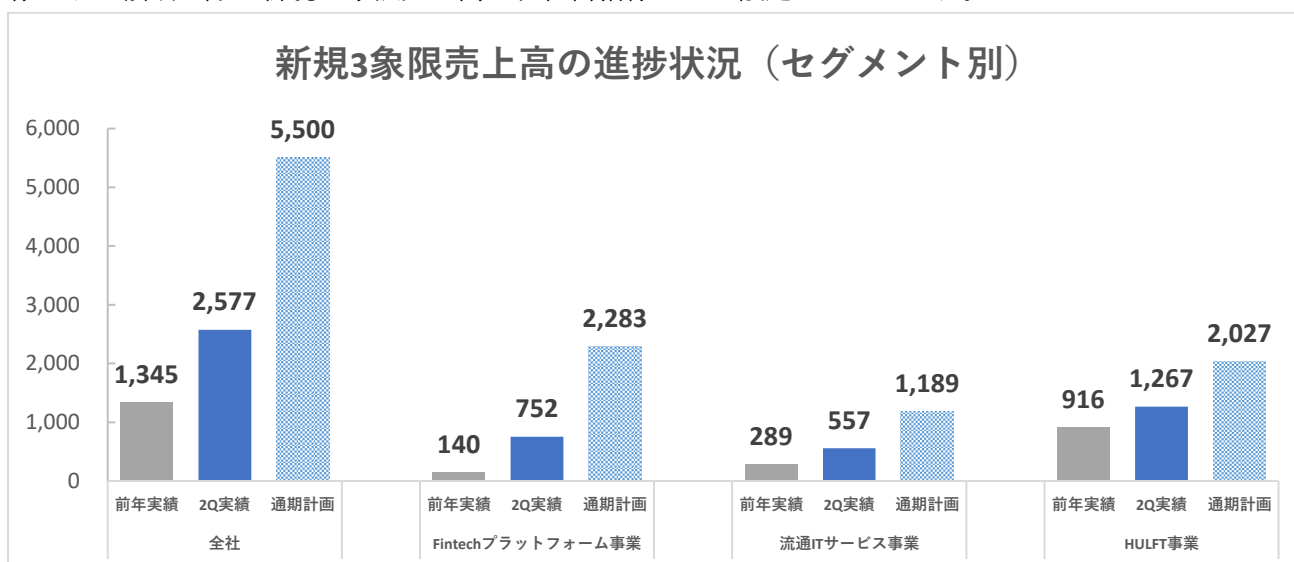
<2017年3月期第2四半期>

- 「HULFT」「DataSpider」及びHULFTファミリー製品等のサポートサービスは順調に推移したものの、前期にライセンス販売の大型案件があったこと等により売上高が減少（前年同期比90百万円減）
- 戦略的な投資拡大のため費用が増加し営業利益が減少（前年同期比775百万円減）
- グローバル展開の一環として、北米地域への拡販を主な目的とし、アメリカ合衆国現地法人HULFT, Inc.を設立（2016年4月）

3. 新規3領域進捗状況

■事業方針

当社グループは、事業領域の拡大と先端技術を駆使した提案型ビジネスへ事業モデル刷新を実現するため、新技術・新領域への事業領域拡大を経営目標として掲げております。新技術・新領域への事業領域拡大は、事業を4つの象限に区分して象限別に進捗管理を実施しています。この4つの象限のうち既存のみの領域を除く新規3象限売上高は、経営指標として設定しております。



■全社

当連結会計年度の計画において、4つの象限のうち既存のみの領域を除く新規3象限売上高計画値は5,500百万円としています。当第2四半期連結累計期間での実績は2,577百万円で、進捗率は46.9%となっております。各セグメントの実績は以下のとおりです。

■Fintechプラットフォーム事業

Fintechプラットフォーム事業は、通期計画値2,283百万円に対して、当連結累計期間での実績は752百万円となり、進捗率は32.9%です。

■流通ITサービス事業

流通ITサービス事業は、通期計画値1,189百万円に対して、当連結累計期間での実績は557百万円であり、進捗率は46.8%です。

■HULFT事業

HULFT事業は、通期計画値2,027百万円に対して、当連結累計期間での実績は1,267百万円であり、進捗率は62.5%です。

4. トピックス

■ニュースリリース一覧（期間：2019年7月1日～9月30日）

- 工場IoTのエッジ領域でノンプログラミング開発が行える「HULFT IoT」新バージョンを提供開始
⇒HULFT IoTは、工場IoTのシステム負荷分散やネットワーク通信量の削減を行うエッジコンピューティングについて、一連のデータ連携処理を“ノンプログラミングで開発”できる新機能「EdgeStreaming」を追加。
- セゾン情報システムズ「2019年度カスタマーサポート表彰制度」で特別賞を3年連続受賞
⇒サービスデスクを集約することによる顧客満足と従業員満足の向上、および業務プロセスにおける無駄を削除することによる働き方改革と生産性の向上を狙ったデータセンターを中心としたセンターマネジメントサービスの取り組みが評価。
⇒2017年、2018年のHULFT事業部の受賞に続き今年で3年連続受賞。
- セゾン情報システムズ、DataRobotとテクノロジー・アライアンスを締結
⇒機械学習モデル生成のプロセスを自動化し、超高精度な予測モデルを素早く簡単に生成できるDataRobot社の「DataRobot」とセゾン情報システムズの「HULFT」「DataSpider Servista」をはじめとするデータ連携製品群が協力し、「DataRobot」を企業内外の様々なシステムと「つなぐ」ことによりその価値を何倍にも高めることを目指します。
- データ連携プラットフォーム「DataSpider Servista」が、6年連続「総合満足度1位」を獲得
⇒企業の情報システムを裏で支えるプラットフォームとしてデータ連携ツールの認知および必要性が高まっている中、「DataSpider Servista」が6年連続「総合満足度1位」を獲得。
- 赤坂インターシティAIRの宅配ロッカーサービスで「Delivery Locker on Blockchain」を正式採用
⇒赤坂インターシティAIRで、入居テナント企業向けの宅配ロッカーサービスとして、ブロックチェーン技術を活用した「Delivery Locker on Blockchain」が正式採用。

<お問い合わせ先>

株式会社セゾン情報システムズ

ビジネスサポート部 IR担当

Tel：03-6370-2930

URL：<https://home.saison.co.jp/>